



2020年1月20日

各位

会社名 日本電気硝子株式会社  
代表者名 社長 松本 元春  
コード番号 5214 東証第一部  
問合せ先 取締役常務執行役員 津田 幸一  
TEL 077 (537) 1700

## 業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2019年10月29日に公表しました2019年12月期（2019年1月1日～12月31日）の通期連結業績予想及び期末配当予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正

##### (1) 2019年12月期通期連結業績予想の修正（2019年1月1日～12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2019年7月29日発表）	百万円 270,000	百万円 18,000	百万円 16,000	百万円 8,000	円 銭 82.80
今回修正予想（B）	257,000	16,000	15,000	△34,000	△351.91
増減額（B－A）	△13,000	△2,000	△1,000	△42,000	
増減率（%）	△4.8	△11.1	△6.3	-	
（ご参考）前期実績 （2018年12月期）	300,326	24,865	19,832	15,199	154.26

##### (2) 業績予想修正の理由

第3四半期（2019年7月1日～9月30日）以降、パネルメーカー各社の減産の影響を受け、薄型ディスプレイ用ガラスの出荷が想定を下回りました。ガラスファイバについては、需要回復が想定以上に遅れており、低調な出荷とこれに伴う稼働調整によるコスト高の影響が続きました。

このような中、2019年12月16日付「米国ガラス繊維事業子会社の一部工場閉鎖及び欧米ガラス繊維事業に係る特別損失の計上に関するお知らせ」にて公表のとおり、2019年12月期通期連結決算において特別損失を計上する予定です。

これらの事業の状況を踏まえ、繰延税金資産を取り崩す予定です。

以上の結果、売上高、利益ともに前回予想を下回る見込みであることから、2019年12月期通期連結業績予想を上表のとおり修正いたします。

## 2. 配当予想の修正

### (1) 2019年12月期配当予想の修正（2019年1月1日～12月31日）

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2019年2月5日発表)	50円00銭	60円00銭	110円00銭
今回修正予想		50円00銭	100円00銭
当期実績	50円00銭		
前期実績(2018年12月期)	50円00銭	50円00銭	100円00銭

### (2) 配当予想修正の理由

当社は、株主の皆さまへの利益還元につきましては、業績の変動に大きく影響されることなく長期的に安定した配当を継続することを基本とし、株主資本配当率（DOE）2%以上を目標に、財務状況等を勘案しながら配当金額を決定することを基本方針としています。

2019年12月期に関しましては、中間配当金を1株あたり50円（2019年8月30日に実施済み）、期末配当金を1株あたり60円とし、年間で前期比10円の増配となる1株あたり110円を公表しております。

今般、本日の業績予想の修正及び財務状況などを勘案し、期末配当金を1株あたり50円とさせていただきます。これにより、年間配当金は前期比据え置きの1株あたり100円となります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によりこれらの予想値とは異なる可能性があります。

以 上